

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立弘済小	学校
---------	----

児童数	6
-----	---

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.67	15.33	32.00	39.00	66.33	9.97	148.00	21.67	51.33
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.00	15.67	36.00	36.00	39.00	10.67	137.33	10.33	49.33
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

今年度は本校の平均値は男女ともに大阪市の体力合計点平均値に達していない。個人の数値を見ると、平均値を大幅に超える児童もいるため、運動能力のばらつきが見られる。児童質問調査では、運動に対して肯定的な意見が66.7%であった。園のクラブや昼休みに遊ぶ道具を貸し出しているため、1週間の総運動時間が60分未満の児童はいなかった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育のはじめに体づくり運動を取り入れており、楽しみながら体力づくりに取り組んでいる。そのため持久力が身に付き、20mシャトルランでは男女ともに平均値を大幅に超えることができた。児童質問調査では、運動に対して肯定的な意見が66.7%であったが、体育の学習に対して肯定的な意見は83.3%であった。運動が苦手な児童にも、楽しいということが伝わり苦手意識を減らすことができれば今後運動に対して肯定的な意見が増えるだろう。体づくり運動を活用し、運動の楽しさを実感できるような活動を実践していかなければならない。

また、成育歴によって運動の経験が乏しい児童も在籍しているため、身体をうまく使えるように一人ひとりに丁寧な指導をしていく必要がある。